

環境目標と達成状況

二酸化炭素排出量	2005年度比10%削減 835,654.58kg以下	827,621.19 kg	○ 10.87%削減
水使用量	2005年度比21%削減 2,537.48m3以下	2,216.00m3	○ 31.01%削減
一般廃棄物排出量	2006年度比20%削減 5,653.60kg以下	4,805.6 kg	○ 32.00%削減
環境PR活動	環境優良商品・環境配慮 型商品の紹介及び拡販	2回の展示会の実施 エコキュート・エコジョーズの拡販	○

具体的な取組

地球温暖化、環境汚染、資源の枯渇を理解し、日常の業務の中で改善できるものを検討しましょう。

節 電

- ・ 昼休みは、不必要箇所の照明を消す。(店頭は除く)
- ・ 外出する場合など長時間席を離れる場合はモニター及びコンピューターの電源を落とす。(伝票出力用の端末を除く)
- ・ 閉店後(残業時)は使用箇所の空調、照明以外消灯する。(当番確認)
- ・ 退社時はコンピューター、プリンター、コピー機の電源を落とす。
- ・ 情報システムチームは24時間稼働必要なサーバー・端末にテプラで明記し、節電行動によるトラブルが発生しないよう管理する。
- ・ トイレの照明、換気扇は使用時以外消しておく。
- ・ 出社時の空調設備は一度に全て入れない。
- ・ 空調設備は各事業所の環境に合わせて設定温度を定め管理する。
- ・ 一時的にでも過剰な温度設定は空調設備・電気設備に負荷を与えるだけで効果が低いので行わない。
- ・ 就業時間内の業務集中に努め、ノ一残業日を設定する。
- ・ 可能な限り、入荷日・入荷時間を調整し荷受け作業による時間外労働を削減する。
- ・ クールビズ・ウォームビズなど季節・環境に対応し、適切で安全な服装をする。
- ・ 電気またはガスを使用し、お湯を沸かす際は適量に努める。

二酸化炭素排出量 10%削減の方法として電気使用量での削減目標を9.7%とし、結果は、使用量目標 527,770.09kwh 以下のところ 426,849.00kwh 27.07%削減。

しかし電力会社の排出係数が変わることによりここから算出される Co2 排出量目標は、187,209.07 kg以下のところ 206,168.07 kgとなり 0.56%しか削減できていないことになりました。

エコドライブ

- ・ 交通規則を守り、急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルなど「急」のつく運転を行わない。
- ・ 車両管理者は、空気圧等始業前点検を行う。
- ・ アイドリングストップに努める。
- ・ 車両を離れる際は、キーを抜き施錠する。
- ・ 出入り業者等にも敷地内でのアイドリングストップを要請する。

ガソリン・軽油の使用量からのCo2排出量は10.8%削減をめざし、平均燃費を2005年比3.9%向上の7.98km/Lとしました。結果は8.40km/L。

内訳はガソリンが1,878.12L増で、軽油が39,083.97L減、Co2排出量としては98,209.27kg、13.9%削減できました。

節 水

- ・ 散水時、清掃時また台所、トイレでの水道使用時は節水に努め、蛇口の閉め忘れが無いか必ず確認する。

前年比約13.7%削減。目標の2005年度実績比21%削減に対しては31.01%の削減となりました。

ゴミ排出量の削減

- ・ 価格表、見積書、納品書、請求書及び個人情報・社内機密事項の記載された書類は裏紙として使用しない。この場合、破ったりまるめたりせず記載箇所又は全てを必ずシュレッダーにかける。
- ・ ゴミの排出量を削減するため、分別を行いリサイクル率を高めるよう努める。
- ・ 使用済みコピー用紙はコピー用紙の空箱に入れ「グリーンサークル」（お取引先での環境活動に参加）により再資源化する。
- ・ 集金に使用したものなど再利用に向かない封筒は、古紙の分別を行い再資源化する。
- ・ 古新聞は、依頼があれば学校・町内等の廃品回収に優先的に供出する。
- ・ 段ボール紙、新聞紙、雑誌・カタログ・チラシは出来る限り金具等を外し、グリーンサークル利用時に合わせて出し再資源化する。または、取引先の紙管製造業社の回収活動に出し再資源化する。

一般廃棄物の排出量は4,805.6kg。昨年より約930kg削減、目標の2006年比20%削減（5,653.6kg以下）も達成できました。

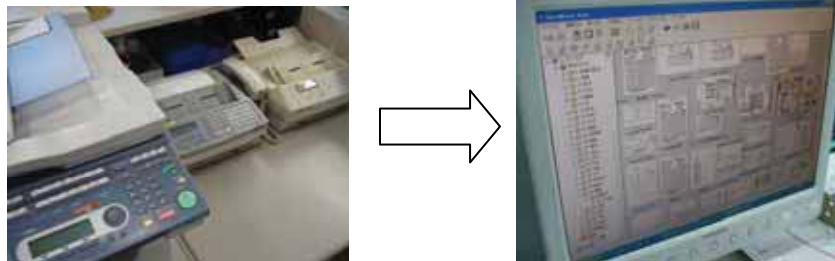
また、古紙リサイクルには15,054kgまわすことができました。



「グリーンサークル」のリサイクルシステム（福井リコー様より）

紙使用量削減

- ・ 会議にはプロジェクターやホワイトボードを使用し配布資料は必要最小限にとどめる。
 - ・ 会議資料は数を確認して可能な限り両面印刷を行う。
 - ・ 社内の連絡・通達事項は、サイボウズを利用し紙媒体、ファクシミリによる回覧・連絡は必要最小限にとどめる。
 - ・ コピー機で複数枚印刷、拡大縮小等および特殊機能を使用した場合は、次の人のために必ず「リセット」ボタンを押す。
 - ・ 書き損じ、印刷ミスをした場合、破らずに裏紙として使用する。
 - ・ 確認のための印刷など保存を必要としない印刷は、用途を検討して裏紙の使用に努める。
- コピー用紙の年間使用量 2000 kg以下を目標として、結果 1,992.5 kg



鯖江支店で運用中のペーパーレスファクシミリ対応複合機

循環型社会へのPR活動

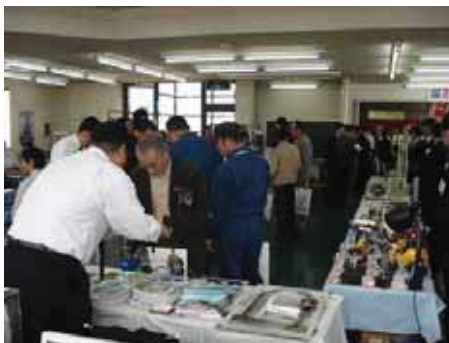
- ・ 物品購入には、積極的に環境優良商品を優先的に購入する。
- ・ 環境優良商品を優先的に宣伝・販売する。
- ・ 環境セミナーに参加し最新の環境情報収集に努める。
- ・ 環境優良商品の社内・社外講習会に参加する。
- ・ 環境展見学会の企画実施を行う。
- ・ 納入業者・仕入先に、環境優良商品の紹介を要請する。
- ・ 納入業者・仕入先に、梱包材の簡素化又はリサイクル可能なものでの納品を要請する。
- ・ 入荷品に入ってくる梱包材は出荷時の梱包材として再利用する。その際、送り状等の除去、仕入先からの納品書・請求書が入る事無いよう注意する事。
- ・ 使用済み封筒は、社内連絡用や商品の梱包用として再利用する。この際、元の宛名を消し誤配の発生しないよう注意する。
- ・ 必要以上と思われる量の残っているカタログは返却等整理し、次回受入数の参考にする。
- ・ 定期配布カタログは早期に配り終える。
- ・ 仕入先・メーカーに協力を要請し大型総合カタログ等の最新版発刊の際はお客様から旧版の回収を行う。

・チラシ等の販促品は、マーケットを検討し適量作成する。

今年も4月21日、23日と当社恒例の「ものづくり」「まちづくり」として展示会 スプリングフェアを開催し、フェア企画としてダイキン工業様の工場見学を実施しました。話題のエコキュートや最新のエアコン製造ラインを見学するということで24社33名の方にご参加いただきました。

また、10月21日にもオータムフェアとして展示会を開催し、年間80台で取り組んだエコキュートの販売もエコキュート55台、エコジョーズ50台の販売をすることができました。

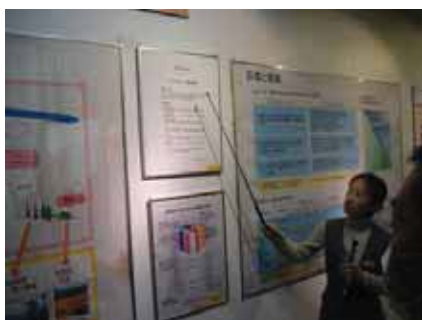
エコキュートの年間 Co2 排出量削減の参考値が 500 kg、エコジョーズが 100 kgとすると 32.5ton の削減に協力出来たこととなります。



オリジナルエコマーク

その他の取組

- ・電話での受注は必ず復唱し、取引先名・品名・数量・納入先等の間違いが発生しないようにする。
 - ・倉庫、配送担当者は、それぞれ検印を行い、お客様に信頼していただけるよう責任を持って作業を行う。
 - ・営業車・トラックに、期限の切れたカタログ、お客様からの返品・預かり品等が乗せたままにならないよう努め、整理する。
 - ・納期に合わせた一括入荷、一括納品により梱包材の削減や配送の効率化に努める。
- その他以上のような項目にも心掛け、事業所周辺の清掃にも努めました。



お取引先から学ぶこともたくさんあります。㈱リコー 福井事業所様にて